

平成30年10月分「市民の声」一覧

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
10月1日	10月17日	ふるさと納税返礼品 沼津市オリジナル商品として、ラブライブの記念切手を発行すれば、かなりの寄付が期待できると思います。 1種類だけでなく、複数作れば全種類揃えようとするでしょう。 郵便局もメリットしかないです。 ぜひやるべき。	ふるさと納税返礼品については、総務省通知「ふるさと納税に係る返礼品の送付等について」(平成30年4月1日付け総務市第37号)の中で、地域資源を活用し、地域の活性化を図ることがふるさと納税の重要な役割であることを踏まえ、返礼品は地方団体の区域内で生産されたものや提供されるサービスとするよう、制度の趣旨に沿った適切な対応を求められているため、「記念切手」の取り扱いが難しいものと考えております。 しかしながら、「ラブライブ！サンシャイン!!」は本市の魅力発信のためのツールとして非常に有効であることから、平成29年度ふるさと納税においては、寄附に対する記念品としてアニメに登場するキャラクターをあしらった缶バッジを作成し、寄附者へプレゼントする企画を実施し、ラブライブ！サンシャイン!!のファンの方をはじめ、多くの方からご寄附をいただいたところです。 今年度においても、同様の企画を実施予定であり、ラブライブ！サンシャイン!!を通じて、本市の魅力発信するとともに、ふるさと納税の更なる推進を図ってまいります。	観光戦略課
10月2日	10月17日	議事進行動議に関する傍聴者への説明と配慮 市議会9月定例会一般質問三日目の27日、梅沢弘議員の発言に対して、鈴木秀郷議員が「動議」を出し議長が受け「休憩」。 10時25分。傍聴者には、何が何だかわからず、再開を待った。 11時議会事務局より「休憩」の説明はあったが、「いつ再開するかはわからない」との返事。その後午前中はむりそうとの事で各々帰宅した。昨年10月10日沼津市議会活性化委員会が千本プラザで開かれた。市民に公開し幅広く市民の声を聴くことを目的としていた。その目的に沿えば議会傍聴者に対して具体的な説明が必要と考えます。 ①議事進行動議とは何か？ ②いつから再開されるのか？ ③議会に対する質問、要望を書く用紙を受けつけに備える。 ④要望を貼り出し、初めて傍聴した人でも議会のしくみがわかる様にする。 ⑤議会事務局員が傍聴者の質問に答えられるしくみにする。 以上 ※沼津市の市議会が傍聴者であふれることを祈っています。	今回は、議事進行の発言に伴い、調整に要する休憩が長時間になった際に、傍聴の皆様へのご説明が足りなかったことにつきましては、まことに申し訳ございませんでした。 いただきましたご意見とご質問について、お答えいたします。 まず、①「議事進行動議とは何か？」につきましては、いわゆる議会用語の一つですが、議事進行上の問題について、議長に対し、質疑し、注意し、あるいは希望を述べるための発言をすることを言います。議題に直接関係があると認められるものや直ちに処理を必要とするものが対象となります。 このたびの「議事進行」は、他市の行財政運営に対する批判とも捉えられる発言を、沼津市議会の本会議における議員の発言として認めてもよいのかという指摘であり、そのまま議事を進行させることは問題だという認識に基づき、発せられたものです。議長は、この発言を、直ちに処理を要すると判断し「議事進行」として扱いました。 次に、②「いつから再開されるのか？」につきましては、本会議場での発言という重みを鑑みれば、発言内容の精査は非常に重要であり、今回の場合も、事実のデータ収集作業や発言者側の真意を確かめる作業など、確認のために時間を要してしまいました。 このように、議長の下で調整が行われる場合には、その状況や内容によりまして、調整に要する時間がどのくらいかかるのか、事務局としても即座に判断しかねることが多く、再開の時間が予測できないという実情がございます。 次に、③「議会に質問、要望を書く用紙を受けつけに備える」及び「要望を貼り出す」ことにつきましては、まず、議会事務局では、皆様からのご意見を、直接お伺いすることはもとより、お電話、ファックス、メール等により、随時お伺いしております。また、市では、今回のように、「市民の声」により、市政全般にわたる市民の皆様のご意見やご要望を受けつけ、その内容と回答は、本人の同意を得た上で市のホームページで公開されております。 議会事務局といたしましては、皆様からいただきましたご意見は、議長まで報告し、必要に応じて議会運営委員会に諮るなど、議会運営の改善や傍聴の皆様への対応の向上に活かしてまいります。 次に、④の「初めて傍聴した人でも、議会の仕組みが分かるようにすること」につきましては、傍聴者の皆様からのご質問に対して、職員が丁寧に説明することはもちろんですが、このたびのご意見を参考に、今後は、沼津市議会に関する概要資料である「議会要覧」や市議会のしくみに関する資料などを、傍聴受付に配置して、傍聴者の皆様に配布できるように改善いたします。今後も、事務局として対応できることについては、速やかに取り組んでまいりたいと考えております。 最後に、⑤「議会事務局職員が、傍聴者の質問に答えられる仕組みにする。」につきましては、今後とも事務局職員が、常に議会運営や会議の進行等に関する情報を共有することにより、傍聴者の皆様にご説明ができれば速やかに、丁寧な説明ができるよう努めてまいります。 これからも、市民に開かれた議会に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、ご意見、ご要望等につきましては、議会事務局までお知らせください。	議会事務局

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
10月15日	11月21日	<p>沼津市に小さな遊園地をつかって欲しい</p> <p>沼津市に住み始めて3年程になります。ママ友情報の中で、市内の幼稚園・保育園・小学校の親子遠足・校外学習など、沼津市外に行くことが多いコトと、沼津市に来た甥っ子とか遊びに行くなら何処が良いか聞かれると、どうしても沼津市外の楽寿園だったり、…。正直、沼津市「遊ぶとこ、ない」って言ってしまいます。まだ、熟知していないから・・・というもあるかもしれませんが、ママ友さん達に「どこ、遊びに行く？」と聞いても、同じ回答だったり、私個人的ですが、だからこそ沼津市に群馬県前橋市にある「るなばあく」や愛知県刈谷市にある「刈谷児童遊園」のような子供用の小さな遊園地を作って欲しいと思っています。安い料金で思う存分いっぱい遊べるし、おじいちゃん、おばあちゃんとも乗って遊ぶこともできます。そして、沼津循環バスも路線数やコースも増やして頂ければ、使用しやすく子育てしやすいと思います。※循環バスを利用したいのですが、行きたい場所にうまいコト行けないのでどうにかして欲しいです。愛着持ちやすいように、名称を「ぬまくる」に変更するとか。</p> <p>子どもに交通機関を利用する選択肢をもっと増やしたいのと年齢問わず、利用しやすくして気持ち良く沼津で生活出来れば！と願っています。遊園地の件も、沼津市できれば自然と子供の数も若い世代も増えてくるのではないのでしょうか？沼津も地盤が緩いなど、色々ありますが、これからの未来の為に頑張ってください。因みに、生まれも育ちの沼津市民の人たち(ママ友含む)沼津市に税金払いたくない！と思っている人が結構います。税金が、子供達、自分たちの為に返ってくれば、そんな拒否りたくなる心理も和らぐのでは、ないかと願っています。</p> <p>どうぞ、ご検討よろしくお願い致します。</p> <p>p.s 沼津循環バスのワンコインバスありがとうございます。以前にこのような形でご提案させて頂いた事があり、現実となってとても感謝しております。前にも書きましたが、利用したいルートになく、どうにか利用出来ないか試行錯誤しましたが、時間等もあり使用出来ないコトもありました。</p> <p>今は、値段が少し上がってしまいましたが、ららポートが出来る頃には、利用者が増え事を願うばかりです。</p>	<p>現在、沼津市が管理している公園は、約150箇所ありますが、公園の整備につきましては、開設してから年月が経った公園が多く、必ずしも利用者のニーズに合っていないことも認識しております。そのため、公園利用者の方々からお聞きしたご意見をもとに、子育て世代を始め様々な世代の方が、利用しやすい公園再整備などを検討しているところです。</p> <p>遊園地につきましては、現在計画はありませんが、小さなお子様が安心してのびのび遊べる公園整備は必要であると考えておりますので、今回のご意見も参考にさせていただき、今後の公園整備に努めてまいります。</p>	緑地公園課
10月15日	11月21日	<p>沼津循環バス</p> <p>沼津市に住み始めて3年程になります。ママ友情報の中で、市内の幼稚園・保育園・小学校の親子遠足・校外学習など、沼津市外に行くことが多いコトと、沼津市に来た甥っ子とか遊びに行くなら何処が良いか聞かれると、どうしても沼津市外の楽寿園だったり、…。正直、沼津市「遊ぶとこ、ない」って言ってしまいます。まだ、熟知していないから・・・というもあるかもしれませんが、ママ友さん達に「どこ、遊びに行く？」と聞いても、同じ回答だったり、私個人的ですが、だからこそ沼津市に群馬県前橋市にある「るなばあく」や愛知県刈谷市にある「刈谷児童遊園」のような子供用の小さな遊園地を作って欲しいと思っています。安い料金で思う存分いっぱい遊べるし、おじいちゃん、おばあちゃんとも乗って遊ぶこともできます。そして、沼津循環バスも路線数やコースも増やして頂ければ、使用しやすく子育てしやすいと思います。※循環バスを利用したいのですが、行きたい場所にうまいコト行けないのでどうにかして欲しいです。愛着持ちやすいように、名称を「ぬまくる」に変更するとか。</p> <p>子どもに交通機関を利用する選択肢をもっと増やしたいのと年齢問わず、利用しやすくして気持ち良く沼津で生活出来れば！と願っています。遊園地の件も、沼津市できれば自然と子供の数も若い世代も増えてくるのではないのでしょうか？沼津も地盤が緩いなど、色々ありますが、これからの未来の為に頑張ってください。因みに、生まれも育ちの沼津市民の人たち(ママ友含む)沼津市に税金払いたくない！と思っている人が結構います。税金が、子供達、自分たちの為に返ってくれば、そんな拒否りたくなる心理も和らぐのでは、ないかと願っています。</p> <p>どうぞ、ご検討よろしくお願い致します。</p> <p>p.s 沼津循環バスのワンコインバスありがとうございます。以前にこのような形でご提案させて頂いた事があり、現実となってとても感謝しております。前にも書きましたが、利用したいルートになく、どうにか利用出来ないか試行錯誤しましたが、時間等もあり使用出来ないコトもありました。</p> <p>今は、値段が少し上がってしまいましたが、ららポートが出来る頃には、利用者が増え事を願うばかりです。</p>	<p>片浜地区及び原地区において、誰でも低料金で気軽に利用できる地域のコミュニティ交通機関として、循環バス「ミューバス」を運行しております。</p> <p>市では、欠損額を一部補助し、事業者とともに運行系統やダイヤ等の見直しを行ってまいりましたが、利用者の増加には至らず、収益の悪化に加え運転手の不足も深刻化しており、今年の4月から運賃をワンコイン100円から値上げいたしました。片浜駅循環においては、平日は減便して収支改善を図り、運行維持に努めております。</p> <p>このような状況のため、現時点では増便は困難と考えておりますが、運行ルートにつきましては、今後の利用状況等に応じて検討してまいります。</p> <p>ミューバスに限らず、路線バスは利用者の減少が続いており、バス事業を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、ご意見にもありますとおり、お子さんから高齢の方まで年齢を問わず誰もが平等に公共交通を利用できることが本来の公共交通の姿であるため、今後も引き続き、公共交通のネットワークの再構築に努めてまいります。</p>	まちづくり政策課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
10月17日	11月14日	<p>貨物基地移転 沼津市の発展の為とか言っていますが、貨物基地が来る沼津市西部はお荷物を押し付けられるだけではないでしょうか？ 沼津市西部も沼津市の一部です。 貨物基地が移転しても、元々の従業員が働いただけだし、一本松、桃里、植田に住む人達にとって何の利も無い。 貨物基地を押し付けるなら、地域住民の生活を改善する為にスーパーなどの生活に必要な施設を作って欲しい。 沼津の西の玄関としてもう少し商用施設を作れば、ベッタウンとして若い家族が住むのではないのでしょうか？ 一本松、桃里、植田の地域は若者が離れて行きお年寄りばかりです。 鉄道高架化を無理やり推し進め、貨物基地を沼津市の西部に作るのであれば西部の住民の為になる施設を誘致して欲しい。</p>	<p>本市は、鉄道による南北市街地の分断が最大の課題となっており、本市が有するポテンシャルを活かしきれていないのが現状であります。 鉄道高架事業をはじめとした沼津駅周辺総合整備事業は、交通の円滑化のみならず、回遊性や拠点性が向上し、南北市街地の一体化が図れるとともに、鉄道跡地等を活用することで、居住環境の創出や民間投資が促進されます。 また、その経済効果や賑わいが全市に波及し、結果として、雇用の創出、交流人口の拡大や定住人口の確保につながり、ひいては、地域経済の好循環が生まれ財源確保にも寄与する事業であると認識しております。 原西部地域については、日本の東西の大動脈である東名高速道路と新東名高速道路へのアクセス性に極めて優れ、今後、東駿河湾環状道路西区間や都市計画道路金岡浮島線などが整備されることにより、伊豆地域はもとより、首都圏や中京圏をはじめとする広域的な交通アクセスの向上が期待されております。 また、新貨物ターミナルの整備をはじめ、様々な基盤整備が予定されており、今後、物流拠点の適地として、大きな可能性を秘めた地域であると認識しております。 併せて、興国寺城跡や白隠禅師ゆかりの寺院、帯笑園など魅力ある豊かな地域資源を活用しながら、地域活性化に向けた取り組みを進めていきたいと考えております。</p>	整備課
10月22日	11月6日	<p>狩野川東岸の歩道脇の照明不点灯 市の管理ではないかもしれませんが、管理者が分かりませんのでこちらに記させて頂きました。 狩野川の東側(マックスバリュー側)港大橋から御成橋方向の護岸の遊歩道の照明で不点灯の器具が多数見かけられます。港大橋より河口側については未確認です。安全のためにも点灯させた方が良いと思います。市の管理でなく市で管理者に連絡いただける場合でも管理者連絡先をお教えください。お手数かと思いますがよろしくお願い致します。</p>	<p>狩野川左岸側(河口に向かって左側)の遊歩道において、約400個の照明灯のLED化工事を11月上旬から行います。工事は三園橋から港大橋のやや下流の江川排水機場までの区間で、完成は11月下旬の見込みです。 当課でも照明灯の不点灯については承知をしており、今年度この工事の施工にあわせての修繕を予定しておりました。ご不便をおかけしました。 一日も早く完成するよう取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をお願い致します。</p>	道路管理課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
10月22日	11月6日	市民の声のデータ添付 (市民の声の入力フォームにて)写真を添付したい場合どのようにしたら良いのかお教えてください。	沼津市のホームページから市民の声をお寄せいただく場合は、ホームページのセキュリティーを確保する関係上、写真などのファイルを添付することができないこととなっております。 お手数おかけしますが、ファイルなどを添付される場合には、直接市民相談センターのメールアドレス(soudan@city.numazu.lg.jp)に送信ください。	広報広聴課
10月29日	11月19日	沼津移住定住 最近沼津市でも、市内タクシー事業者と協力し、沼津への移住支援活動を行っていますが、家族連れの移住者が一番気にするポイントは、「仕事」「教育」「医療」の3点のだと思います。 「教育」については、既に市内には東京大学からオリンピックまで輩出するそれぞれ特色の持った高校が数多くあり、かつ周辺隣市には東京の名門私立大学付属直系の中高一貫校が2校あり、問題ないと思います。 また「医療」についても、市立病院はじめ、静岡医療センター、県立がんセンター、聖隷病院など高度な医療を受けることができる機関が揃っており、全く他市に比較しても遜色ないと思います。 ただ「仕事」探しについては、公的機関による支援が弱く、現状ではハローワークや民間求人情報会社の求人情報に頼るしかなく、なかなか首都圏レベルの経済条件の求人は稀であり、あったとしても一般公募には出ないのが現状だと思います。 その一方で、市内事業主の中には、短期では人が充足しているが、長期将来的には「もし良い人がいたら探りたい」との潜在ニーズは高いのだと思います。 もしこのような移住者の転職ニーズと事業主の採用ニーズをマッチングさせる方法として、例えば、先に移住希望の求職者が自分のこれまでのキャリアや資格、能力、希望情報を登録し、その情報を閲覧して興味を持った事業主が求職者にアプローチするような仕組みがあれば、双方の負担を減らした上で、高い確度でのマッチングができるのかと思います。 また現在市内には、移住希望者が安価に頻繁に滞在できるような施設が不足しているような気がします。 空きビルをリノベーションして、長期滞在者向けのゲストハウスを作る動きもあるようですが、もう少しこのあたりもPRできれば、沼津への移住促進に繋がるのかと思います。	ご指摘のとおり、ご家族連れの移住を促進するためには、「仕事」「教育」「医療」のそれぞれの面での充実が必要と考えております。 特に「仕事」につきましては、遠方からの移住には転職が伴うため、移住希望者の大半が新たに就職を希望されることから、移住希望者の就職活動に対する支援が重要と認識しております。 本市では、移住希望者への支援として、ハローワークや市内の人材派遣会社から得た求人情報を提供しておりますが、求職者と市内企業とのマッチングについての支援ニーズの高まりを受け、平成29年3月に沼津市が運営する地域の就職情報サイト「ぬまjob」を開設しました。同サイトでは、ご提案いただいた移住希望者も含めた求職者が、沼津市での職探しや就職を希望する企業へ連絡を取ることができます。また、同サイトは開設したばかりということもあり、現在も求職者や市内企業のニーズ等を踏まえ、効果的なサイトとなるよう改良を重ねているところです。今回いただいたご意見についても参考にさせていただきたいと考えております。 このほか、本市が進めるリノベーションまちづくりの取組みの中で、狩野川沿いの空き物件がリノベーションによって宿泊施設として整備されており、これらの利活用の促進も含めPRの充実を図るとともに、移住希望者に対するタクシーでの現地案内制度等と連携して、本市を訪れる移住希望者の着実な獲得に努めてまいります。	政策企画課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
10月29日	11月13日	いじめ いじめ、静岡県内公立小中で最多 17年度、1万件超認知 静岡新聞より 放置していいんでしょうか？	いじめにつきましては、平成25年に国が定めた「いじめの防止等のための基本的な方針」において、「いじめは誰にでも起こりうるもので、軽微なものでも相手が嫌だと思ったことをするといじめである」とされました。このため、本市においても軽微なものや初期段階のいじめを見逃さず、積極的に認知した結果、いじめの認知件数は大幅に増加しました。もちろん、いじめ解決に向けても、きめ細かな対応で早期解決を図り、いじめの防止に努めているところであります。 具体的な対策としましては、未然防止策として、学級内で、子どもたちが自らいじめについて考える機会を大切にし、いじめ撲滅宣言を作るなど、自分たちの問題を自分たちで解決していく取組や、困り感を抱えている子どもを早期に発見し、重大事態に陥る前に対応できるよう、定期的にアンケート調査等を実施しております。 また、いじめをみつけた場合には、必ず担任と管理職が連携して組織的に対応することとし、正確な事実確認を行い、保護者と連携しながら、加害者への継続的な指導、被害者に対しては寄り添いながら、いじめが解消された後も見守り続けることとしております。 今後もいじめで困っている子どもが1日でも早く安心して生活できるよう、軽微なものも見逃さず、いじめの早期発見、早期対応、早期解決に向け積極的に取り組んでまいります。	学校教育課
10月30日	11月21日	江原公園、高尾山道路工事 江原公園、高尾山の道路工事が今後どうなるかはわかりませんがJAなんすんのすぐ東側にある水源はご存知ですか？そこには小さな魚や手長えび(多分)ザリガニなど生息しています。目に目に見える以外にも生物がいると思われ ます。 道路がどうなるかわかりませんが、そこで生活している生き物を保護して下さい。 今の状態のまま残るなら問題ないのですが、水脈が断たれたりするようなら珍しい手長えびなど絶滅してしまいま す。	ご意見をいただきました道路工事は、都市計画道路沼津南一色線として平成8年度に事業認可を取得し、事業を進めてまいりましたが、道路計画線上に極めて価値の高い古墳が発見されたことから、古墳保存と道路整備の両立を目指すため当初の道路計画の変更が必要となりました。このことから昨年度に古墳保存と道路整備の両立を目指すための整備方針を公表し、現在、具体的な設計に必要な基本計画の策定に取り組んでいるところであります。 JA南駿敷地の北東側にある水源については、当初計画から道路用地として計画されていた箇所であり、昨年度、公表した整備方針に基づき設計を進めていく範囲の中でも道路用地として必要な箇所となっております。生物の存在については認識しておりますが、水源がある箇所は道路整備を行う上で必要な用地であることから、来年度以降、進めていく道路設計の中で水源の取り扱いについても検討を行っていきたいと考えております。	道路建設課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
10月31日	11月13日	<p>本 学校の参考者、漢検、数検などの資料集があったら良い。とても嬉しいし、教科書ぐらいしかないのが残念です。また入荷するのであれば電話して下さい。</p>	<p>学校の参考書や漢字検定、数学検定などの問題集につきましては、小学校から高校生まで各学年各教科を揃える必要があります。 また、一つの科目に関しても図書館で選書したもの以外に複数のニーズがあることなどから、学習参考書や問題集などは個人的に利用するものであるとともに、その性格上、書き込みや切り取りのリスクが高く、公共図書館にはなじまないと考えております。 なお、教科書見本につきましては、図書館の蔵書ではなく、「教科書の発行に関する臨時措置法」及び「同施行規則」に基づき、静岡県教育委員会及び沼津市教育委員会より依頼され、一年間保存しているものです。 何卒御理解を賜りますようお願いいたします。</p>	図書館